

業績好調

JFEシビル九州の戦略

JFEグループの総合建設会社、JFEシビル九州支店(支店長・米倉真也氏)の業績が好調だ。昨年度の売上高は当初計画比22・2%増の22億円となり、直近の10年間で過去最高。今年度は30億円を目指す。就任から1年が経過した米倉支店長に、現状と課題などを聞いた。

(馬場 雅明)

—2カ月が経過した熊本地震の影響から伺いたい。「熊本地震では多くの建物が損傷を受けた。当社のシステム建築メタルビルや耐震・制震デバイスについても被災状況を調査したが、幸い東日本大震災の

米倉 真也支店長に聞く



昨年度売上高
過去10年で最高
今年度30億円

時と同様に、大きな被害はなかった。耐震性能は実証されていると思うている。これから復興需要で建設費の高騰、現場管理者の不足も予想されるので、短

を採用することにより現場労務費を削減できる。当社としてもゼネコンとのコラボレーションは拡販に繋がる」

—独自の耐震・制御デバイス商品を保有しているのも強みです。

「二重鋼管座屈補剛ブレース、ハーフ十字ブレース、J-UPブレースといったブレース型に加え、間柱型や壁型の耐震・制震デ

「一柱一杭工法」「いちいち基礎工法」(杭と柱を一体化した構造で基礎梁がない)を採用できる。地盤状況なら、更に工期短縮・コスト削減が図れる。基礎梁がないことに

「立体駐車場」の受注拡大

—直近の業績は。「JFEグループ会社と、その取引先との定期的な交流、システム建築施工店との協同営業、ゼネコン及び商社関係の人脉を生かした営業などに注力した結果、昨年度の九州支店の売上高は計画の18億円に対して22億円を達成できた。直近の10年間で、20億円を超えたことはなかった。今年度は30億円台に乗せたいと思っている」

—最後にそのための課題を。「何と云っても、自走式立体駐車場の受注拡大がかかせないと思っっている。9月に完成予定の『那覇空港立体駐車場』(5層6段の駐車場、収容台数1226台)は、沖縄での知名度に大きく貢献した。幸いなことに、立体駐車場の引き合いが増加している。今年度は立体駐車場10億円の受注を計画している」